

## 平成 23 年度第 1 回人材支援委員会 議事概要

- 日時 平成 23 年 6 月 30 日 (木) 14:00~16:00
- 場所 文部科学省・研究交流センター 2 階 第 1 会議室
- 出席者 委員長：二タ村 森  
(敬称略) 委員：井上勲、黒澤景、中村修、相澤高史(代理 中島一美)、西嶋昭生、水町功子、秋永宏幸、田中裕一郎、小野洋一、白井憲一  
事務局：吉田重信、樋口 洋、菊池正宏、伊藤祐二

### ■委員紹介

委員の異動がありましたので、初めに自己紹介をいただいた後、議事に入った。

### ■議事

- 1 国の人材育成施策について
  - ・委員長から研究人材の最近の動向について、又事務局から総合特区関係について説明があった。
- 2 人材育成ロードマップについて
  - ・委員長から、昨年度作成したロードマップについて、東日本大震災により外国人研究者が日本を離れるなど影響が出ているのでロードマップの見直しが必要である旨説明があり、今後見直していくことで了承された。
- 3 各タスクフォースの今年度の活動計画について
  - (1) 若手人材育成支援 TF
    - ・平成 23 年 4 月に設立した「ナノデバイスセンター」の概要と、人材育成スクール(ナノエレクトロニクス研修, 要素技術スクール)の実施内容について説明があった。
    - (主な意見)
      - ・人材育成スクールの PR について、是非とも筑協に協力してほしい。
  - (2) グローバル人材育成支援 TF
    - ・震災を受けて 8 月を目処に見直している「第 4 期科学技術基本計画」上の人材育成と、研究所の国際化のための課題と具体的対策等について説明があった。
  - (3) 女性研究者育成支援 TF
    - ・女性研究者の積極的採用や育児・介護支援、キャリア支援など、農研の活動状況について説明があった。
    - ・農研機構では、今年 8 人採用したうち 4 人が女性で、女性の応募割合は全体の 42%、受験割合は全体の 44%。このように応募・受験段階の女性比率が大きいことが、採用 50% 達成の理由の一つであるとの説明があった。
    - (主な意見)
      - ・是非とも、この情報とやり方を各研究機関に PR してほしい。
  - (4) シニア人材支援 TF
    - ・つくば市の OB 人材活動支援事業について説明があった。
    - (主な意見)
      - ・人気講座が出来ているので、公開講座にすると良い。
      - ・人気のある講座を組み合わせて行くと定着していくと思う。
      - ・つくばには専門家がたくさんいるので、公民館でなく広くアプローチすると良い。
      - ・講座が 1 回きりなので、シニアと子どもたちとのふれあいのある継続性のある講座にすると良い。
      - ・現在、コーディネーターの営業によりメンバー確保を維持している状況にあるため各研究機関で退職される方にメンバー登録していただくよう OB 人材活動支援事業の資料を渡すとともに、是非とも筑協から会員向けに PR してほしい。
- 4 今年度の人材支援委員会全体としての活動
  - 委員長から、外国人も含めたネットワークづくりをしていきたい旨の考えが示された。次回委員会までに、計画案を提示する予定。

以上